

花きの県別生産出荷概況(11月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	11月出荷見込み 千本		主産地	11月のピーク		
				全出荷量	京浜地域		上	中	下
ストック	福島県	46.9 (96%)	アイアン系 (白・チェリー) 雪波、朝波 他	310 (96%)	190 (96%)	会津みどり 会津いいで	20	35	45
	山形県	44 (95%)	アイアンシリーズ カルテットシリーズ 雪波、朝波 シャンテシリーズ 他	1,400 (100%)	840 (100%)	JA庄内たがわ、JA庄内みどり JA鶴岡、JAさがえ西村山 JAみちのく村山、JA山形 JA山形市、JA天童 JA山形おきたま 他	20	35	45
	千葉県	39.8 (100%)	(スプレー)カルテットシリーズ 【ホワイト、チェリー、マリン】 (スタンダード)アイアン系 【ホワイト、チェリー、ピンク、マリン】	141 (100%)	85 (100%)	館山市(神戸、西岬) 南房総市	5	20	75
		0.8 (100%)	(スプレー)カルテットシリーズ 【ホワイト、チェリー、マリン】	15 (100%)	15 (100%)	君津市	20	30	50
バラ	群馬県	15 (90%)	アヴァランチェ、サムライ他多数品種	700 (90%)	600 (90%)	利根沼田 前橋市 甘楽豊岡	40	30	30
	千葉県	3.6 (100%)	サムライ、ザ・テレサ、ローテローゼ、ノ ブレス	150 (100%)	128 (100%)	鴨川市	30	30	40
		2.4 (84%)	サムライなど			茂原市	30	35	35
		0.8 (100%)	ローテローゼ、ロレーナ等	50 (100%)	50 (100%)	神崎町	30	35	35
	茨城県	11 (98%)	サムライ08、ワム、 アプリコット、アバランチェ、 ファンシーローラ 他	600	480	笠間市 筑西市 他	30	30	40
	山梨県	3.8 (93%)	ローテローゼ サムライ 等	300	280	笛吹市 (御坂町)	40	30	30

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
ストック	<p>・会津みどり(坂下): 全体的に順調な生育である。雪波・朝波は、10月下旬～11月上旬がピークとなる。アイアン系は、花芽が見え始めている品種があり11月上旬から12月末まで継続出荷となる。</p> <p>品種割合は、全体の60%がアイアン系である(アイアン系)。色割合は、白40%、チェリー30%、ブルー15%である。</p> <p>・会津いいで: 草丈60cm前後。夏場の高温で節間がつまり気味なため草丈が短い傾向にある。一番花の摘み取り作業中。出荷は、例年並の11月頭から始まり、病害虫は、一部でアブラムシ類の発生が見られたが、防除を行ったため品質には影響ない。</p>	<p>現状</p> <p>生育の遅れで、上・中旬は出荷が減少。下旬からまとまった出荷開始。夏場の高温の影響で品質はよくない。寒さが増すと締まったものが増えてきた。需要面では大きな需要なく、出始めの商材を使いたい顧客のみの需要となった。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き 山形産は月上旬から、千葉産は中下旬より入荷が増加する見込み。寒さが入り、品質が良くなると需要も増加する見通し。</p>
	<p>・スタンダード系品種のアイアンシリーズの生育はやや遅れている。</p> <p>・スプレー系品種のカルテットシリーズの生育は例年並みである。</p> <p>・作型により順次出荷時期がずれることから、出荷ピークは大きくなしと見込まれる。</p>	<p>FAJ 山形、福島中心の入荷。気温の低下してくると、小売りなどでも引合い出てくる見込み。</p> <p>東京フラワーポート スプレー、スタンダードともに山形産の出荷が増えてくる。</p>
	<p>生育は順調。JA安房(南房地区)は11月下旬から共選出荷を開始予定。</p> <p>南房地区はスタンダード60%。神戸はスプレー、西岬はスタンダード中心に作付け。</p>	<p>世田谷花き 福島・山形などから各色入荷。例年より少なめか。</p>
	<p>8月上旬から播種を開始。病害虫の被害はほとんどなく、日照時間が確保でき生育は順調。11月上旬から出荷が始まる見込み。</p> <p>スプレー系のカルテットシリーズ(ホワイト、チェリー、マリン)主体。</p>	
バラ	<p>夏季高温による影響もあり、現時点での出荷量は例年より少なめ。</p> <p>今後、気温の低下とともに全体的な品質は回復する見込みだが、出荷量の急増はなく出荷量は平年並みの見込み。</p> <p>作柄は並で特に目立った病害虫被害はない。</p>	
	<p>気温の低下とともにボリュームが回復し、品質も良好。</p>	<p>現状</p> <p>前半の3連休需要や、ブライダルシーズンに入ったことで引合いは強め。夜温の低下に伴い西南暖地の品質も向上し、徐々に上位等級の出荷が始まる。新品种も出揃った。</p>
	<p>生育は順調。</p> <p>生産者によって様々な品種を栽培している。ローテローゼに替わる赤系品種サムライ08、アマダ等への改植が進んでいる。</p>	<p>見通し</p> <p>大田花き 引き続きブライダル需要が強い見込み。西南暖地の品質が良くなり、栃木、愛知、静岡産が主力となる模様。</p>
	<p>順調な出荷となる見込み。</p>	<p>FAJ 徐々に西南暖地出荷量とまり、高冷地減少。引き続き宴会中心の取引がメイン。</p> <p>第一花き ブライダル・業務需要中心の流れ、品種・品質による単価差は是る。 @100</p>
	<p>・平年並みの出荷を見込む、大きなピークは無し。</p> <p>・病害虫は一部圃場でハダニ類が見られるが、出荷に影響はないと見込まれる。</p>	<p>世田谷花き 冷え込みと共に、若干入荷は減少する見込み。上旬・下旬は、婚礼需要による引合いが強い見込み。</p> <p>東日本板橋花き 引き続き業務中心に動きあり、暖地中心の入荷。</p>
	<p>生育は順調である。</p>	<p>東京フラワーポート 品質、等階級とも暖地産が安定してくる。婚礼需要中心だが気温も下がり小売りにも期待。</p>